

【シコー】 ニッチテープEO袋 3mmの隙間をなくした 新製品登場

製袋業界の大手、シコー㈱（大阪市北区梅田1-1。白石忠臣代表取締役社長）は、近年、顧客の要望に応じたきめ細やかな製品開発に力を入れている。

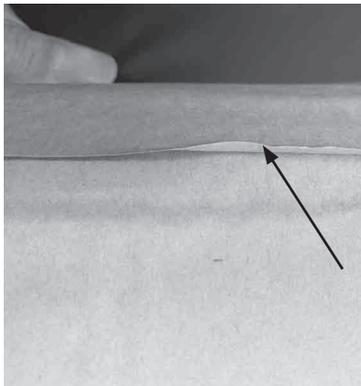
このほど、イージーオープン袋（EO袋）に「コンタミ防止」機能を付加した「ニッチテープEO袋」を開発、上市した。異物混入防止のために補強紙のキワまで接着してほしいという顧客ニーズに基づいて商品化した新製品だ。

製品概要

「隙間をなくしたい」という構想は2年ほど前からあったが、そこに一件の問い合わせが入った。現在、商品化しているイージーオープン袋の補強性は保ちつつ、その隙間をなくすることはできないかというものだった。

お客様によると、糊付けした箇所の際間にごみが入り込み、開封時にそれが落下するなどして異物混入の原因になるため、その不安を排除したいという。

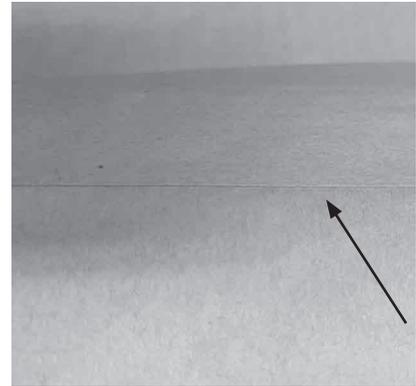
従来品の糊付け箇所の際間



開発課題

従来品は必ず3mmぐらいの隙間ができる。この隙間をなくすためにはキワまで糊を入れる必要がある。しかしキワまで糊を入れるとはみ出ししてしまい糊カスの発生や袋同士の貼り付き、異物付着の原因になる。そのため従来はこの隙間をなくすのは不可能だった。そこで、この課題を解決したのが、国内初、イージーオープン袋の進化系「ニッチテープEO袋」だ。

ニッチテープE.O袋のキワ



改良した今回のニッチテープ

PEO袋は、糊付けしたキワを、爪でこすってもはがれない。もちろん裏面も隙間はまったくない。しっかり接着していて、かつ、イージーオープンなので開封はともスムーズな構造になっている。

「隙間なし、糊のはみ出し・ベタつきなし、・異物の付着なし」が最大の特徴だ。シコーはこの袋を、異物混入対策に厳格な医薬品関係や食品関係の新しい包装資材として提案していきたいと考えている。

動画URL

https://www.siko-solution.com/videos/detail_16.html

シコーの原点

シコーは、今回の新製品以外にも「U字カットEOバッグ」「アレンジバッグパートナ1」「片底バッグインバッグ」「MPB」「サイドクリアバッグ」「スパ

イクバッグ」等、顧客の要望

に応じたニッチな製品をこの数年で数多く製品化している。

なぜここまで多くの新製品を上市するのか。それには理由がある。袋に小さな穴をあける、あるいは熱でシールをして機能を付加する等、他社とは「ちょっと」だけ違う、『オモロイことをしてみよう』という同社の思想が常に起点になっているからだ。

『画期的なこととはしなくても、お客様が求めているニーズをくみ取って、喜んでもらいたいにつなげる』、これがシコーに長年受け継がれてきた製品開発の信念である。

白石社長は、この春より中期経営計画をスタートさせ、キャッチフレーズにも『オモロイことをする』というフレーズを用い、全社員がコロナ禍に負けずに前進しようという行動指針を掲げている。

同社のお客様目線の製品開発は、今後も続いていく。

ニッチテープE.O袋を持つ白石社長

